

本校の研究主題 (授業に臨む指針となるもの)

**主体的に課題解決に向かう力を育む、
学習指導の在り方
～生徒指導の3機能を活用した授業を通して～**

教科担任は授業で以下の4点を意識します。

- ①課題解決の場を設定する
- ②生徒の思考に沿った課題を提示する
- ③生徒指導の3機能(※)を取り入れた展開を行う
- ④対話を柱とした協働的な活動を取り入れる

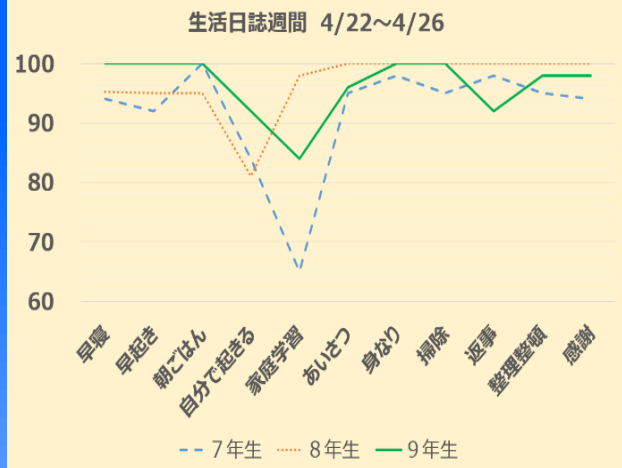
その結果、「主体的に課題解決に向かう力を育成することができる。」と考えて取り組みます。

※生徒指導の3機能を意識した授業とは

「授業の場で児童生徒の居場所をつくる」
 「わかる授業を行い児童生徒の主体的な学習態度を養う」
 「児童生徒に共に学び合うことの意義と大切さを実感させる」
 等を意識した授業です。授業は、学校生活の基本であり、児童生徒の信頼関係を築く場になります。友達を受容する雰囲気の中、一人ひとりの児童生徒が自分の考えを持ち、交流活動を通して認め合ったり、みんなの前で表現したりする授業は、児童生徒の自己有用感、自己肯定感、自己存在感の向上が期待できます。

<大分県教育センター 授業改善Q & Aからの抜粋>

今年度、第1回目の生活日誌週間(4/22～4/26)の結果が出ました。(右のグラフ参照)学年が上がるにつれ、生活の自律・コントロールができていると見ることができます。7年生の「家庭学習」が極端に守れていないのが気になります。まだ中学校での学習に慣れていないということなのでしょう。「家庭学習」は「目標学習時間達成」+「メディア利用ルールが守れた」ことが条件になっており、どちらができなかったのかを把握するために、次回から項目を分けるようにしました。今後の調査結果がどのように変化していくのか推移を見守りながら、生徒自身が生活改善を図る材料として活用させていただきます。



今年度も鶴野さん・松原さん・矢羽田さんの3名が月に1回、読み聞かせを行ってくださいます。3名が活動する「大山朗読の会」は3月に日田市社会教育振興大会で「本の読み聞かせの継続により、児童生徒への読書の楽しさや知的好奇心を育み、青少年の健全育成に貢献した社会教育功労団体」として、日田市社会教育連絡協議会から感謝状を授与されました。



4月30日(火)恒例になっているバスケットボール部の朝清掃が行われました。この活動についての説明と思いをキャプテンの香月逞利くんに聞きました。

僕たちバスケ部は、大会後の登校日の朝、玄関・2階廊下・3階廊下の清掃を必ず行っています。この活動は先輩たちから「試合で応援して下さる先生、地域の方、保護者に感謝の気持ちを伝える」という意味だと教えてもらって活動してきました。そしてこの活動は僕たちにとっても、試合に勝っても負けても気持ちを切り替えて次につなげるという大きな意味を持っています。これからもこの伝統を後輩へと繋いでいきます。